

科目名 (Eng)		コミュニケーション論(Introduction to Communication Science)						
担当教員		松江 俊一						
対象学年等	学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
	コミュニケーション情報学科	2	前後期 通年	必修 選択	2	(60)	専門	C
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(D-1)。(D-5). 修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：6).							
授業の概要と方針		コンピュータを用いながら、的確な要約力、論理的な発話能力を養うためのトレーニングを行う。コミュニケーション形態を様々な角度から捉える目を養う。						
到達目標		①ワープロ・プレゼンテーションソフトの的確な使用法を習得し、使用できる。 ②分量の多い新聞・雑誌・講話等の情報を図表を用いて要約できる。 ③決められた制限時間の中で意味の含有率の高い発表ができる。 ④板書に頼らずにノートを作り、要約ができる。						
授業計画								
	週	授業項目	理解すべき内容				事前学習	
前期	1	新聞・雑誌・講話の要約(1)	環境問題	1	Excelの復習はその週のうちに必ず行うこと。 日本語ドリルは自分で問題を作って取り組むこと。 授業メモをもとに自作のノートを作成すること。			
	2	新聞・雑誌・講話の要約(1)	環境問題	2				
	3	レジュメの作成、発表(1)	相互評価	1				
	4	新聞・雑誌・講話の要約(1)	福祉問題	1				
	5	新聞・雑誌・講話の要約(1)	福祉問題	2				
	6	レジュメの作成、発表(1)	相互評価	2				
	7	新聞・雑誌・講話の要約(1)	経済問題	1				
	8	新聞・雑誌・講話の要約(1)	経済問題	2				
	9	レジュメの作成、発表(1)	相互評価	3				
	10	新聞・雑誌・講話の要約(1)	政治問題	1				
	11	新聞・雑誌・講話の要約(1)	政治問題	2				
	12	レジュメの作成、発表(1)	相互評価	4				
	13	新聞・雑誌・講話の要約(1)	国際問題	1				
	14	新聞・雑誌・講話の要約(1)	国際問題	2				
	15	レジュメの作成、発表(1)	前期期末試験解答用紙の返却と解説	相互評価				
後期	16	新聞・雑誌・講話の要約(1)	教育問題	1				
	17	新聞・雑誌・講話の要約(1)	教育問題	2				
	18	レジュメの作成、発表(1)	相互評価	6				
	19	新聞・雑誌・講話の要約(1)	医療問題	1				
	20	新聞・雑誌・講話の要約(1)	医療問題	2				
	21	レジュメの作成、発表(1)	相互評価	7				
	22	新聞・雑誌・講話の要約(1)	地域問題	1				
	23	新聞・雑誌・講話の要約(1)	地域問題	2				
	24	レジュメの作成、発表(1)	相互評価	8				
	25	新聞・雑誌・講話の要約(1)	宗教問題	1				
	26	新聞・雑誌・講話の要約(1)	宗教問題	2				
	27	レジュメの作成、発表(1)	相互評価	9				
	28	新聞・雑誌・講話の要約(1)	政治問題	1				
	29	新聞・雑誌・講話の要約(1)	政治問題	2				
	30	レジュメの作成、発表(1)	後期期末試験解答用紙の返却と解説	相互評価	10			
試験について		中間試験は共通科目試験日に50分間の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。						
評価方法		定期試験40%、課題・発表等60%で評価する。						
教科書		配布資料						
参考書		授業中に指示する。						
関連科目		情報基礎演習、日本語1・2、コミュニケーション論入門						
履修上の注意		新聞等を毎日読み、外交・政治・経済問題についての情報を収集すること。						